

市町社協活動レポート

「広げよう地域に根ざした
思いやり」
（小松市・月津地区社会福祉協議会）

小松市社協では、新しい総合事業を見越した生活支援として町会単位によるサロン活動とミニデイ活動をはじめとしています。

ミニデイは、要支援や虚弱の高齢者の介護予防を目的とし、毎週1回憩いの場づくりを開催しています。サロンは、参加者を限定せず、どなたでも気軽に寄り合い、体操を主におしゃべりやレクリエーションを行う地域の拠点を目指しています。平成28年度では、市内246町会のうち、サロン活動が202か所、ミニデイ活動が16か所立ち上がっています。

また、市では、サロンやミニデイで行う健脚体操を普及することを目的に、健脚ボランティアも4000人養成しています。

月津校下の安心安全な地域活動

小松市月津地区社協では、県社協が実施している地域福祉実践研修を活用し、区内の様々な支援活動を広く住民に知っていただき理解を深めようと、「地域の見守り力向上研修会」を開催しました。

研修では、南部第二高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）も参画し、センターが取り組んでいる「顔の見える連絡会」の報告がありました。この連絡会では、民生委員や地域福祉推進員だけでなく月津地区に出入りしている調剤薬局、水道・電気の見守り員、宅配業者などの事業所にも協力をいただいています。

連絡会がきっかけで、「困ったときの相談相手が見つかってひとりで抱え込まなくてよいとホッとした」「言われてみればおかし

な、と思ったことがこれまでもあった」と意見交換ができる場として機能しています。

月津地区ミニデイ「高齢者の姉さんと兄ちゃんがちょっと先輩高齢者と一緒にお楽しみ会」健脚めぐりしてみんなで「いい、さん、いい！」



（左から）寺本紀子講師のコーディネートで、寶谷月津地区社協会長、月津町ミニデイおせきサロンボランティア中坂さん、茗荷谷南部第二高齢者総合相談センター長が膝をつきあわせ意見交換「支え合いがあってこそ月津で住み続けられる」

地域全体での情報共有の必要性

この研修会には、月津地区東民児協会長から校下約20団体の役員にお声かけをしていただき、子供会、子ども園保護者会や小学校育友会の役員など若い世代の参加もありました。

これからは高齢者だけの見守りではなく、ありとあらゆる住民で細やかな見守り活動を続けていき、子ども、障がいのある方生きづらさを抱えた方など、見守りが必要としている人を互いに気づかい支え合う「お互いさま」の地域づくりを実践していこうと認識を深めました。

赤い羽根だより

平成29年度共同募金運動ポスターコンクール

児童・生徒の皆さんに、赤い羽根共同募金のポスターを描いていただくことで、共同募金や赤い羽根に慣れ親しみ、「自分の町をよくするしくみ」への理解をより一層深めていただくことを願って、実施しています。

9月21日(木)に共同募金ポスターコンクールの審査会を行い、31点の入賞作品を決定し、表彰式を11月11日(土)イオン御経塚店で開催しました。ここで作品の一部を紹介いたします。

平成29年度共同募金運動ポスターコンクール受賞作品（一部）

【石川県知事賞】 3点



羽咋市立羽咋小学校6年 八島 真倫さん



かほく市立河北台中学校2年 高野 莉歌さん



石川県立羽咋工業高等学校3年 寺中 真悠子さん

【石川県教育委員会賞】 3点



七尾市立徳田小学校1年 塚林 快斗さん



白山市立北星中学校2年 安部 彩音さん



石川県立羽咋工業高等学校3年 鷺澤 萌乃さん